



いけだ まさお

池田真朗 先生武蔵野大学法学部長・教授
慶應義塾大学名誉教授

1949 年生まれ。専門は民法債権法および金融法。司法試験(旧・新) 考査委員(新司法試験民法主査)、国連国際商取引法委員会国際契約実務作業部会日本代表、日本学術会議法学委員長等を歴任。動産債権譲渡特例法、電子記録債権法の立案・立法に関与。主著の『債権譲渡の研究』(全四巻)で全国銀行学術研究振興財団賞、福澤賞を受賞。2012 年民法学研究功績により紫綬褒章受章。

【主要著書】

『スタートライン債権法』(日本評論社、1995 年、第 5 版 2010 年)、『スタートライン民法総論』(日本評論社、2006 年、第 2 版 2011 年)、『プレステップ法学』(〔編著〕弘文堂、2009 年、第 3 版 2015 年)、『新標準講義民法債権総論』(慶應義塾大学出版会、2009 年、第 2 版 2013 年)、『新標準講義民法債権各論』(慶應義塾大学出版会、2010 年)、『解説電子記録債権法』(〔共編著〕弘文堂、2010 年)、『判例学習の AtoZ』(〔編著〕有斐閣、2010 年)、『民法(債権法)改正の論理』(〔共編著〕新青出版、2010 年)、『ボワソナードとその民法』(慶應義塾大学出版会、2011 年)、『民法はおもしろい』(講談社現代新書、2012 年)、『新世紀民法学の構築』(慶應義塾大学出版会、2015 年)

法律学の 学び方と教え方 ―新世代の法学部教育を求めて―

12 月 6 日(火)

16:40~18:10

成蹊大学 4 号館ホール

【予約不要 どなたでもご参加いただけます】